

筆者の趣味について

-プロ野球観戦(阪神タイガース)について-

Wathematica のアドベントカレンダーはとてもレベルが高く、学術的なことを書かれている方が多くいらっしゃる。しかし、現在の筆者のレベルでは、学術的なことを書くことは極めて困難である。そこで、今回は、自分の趣味の一つである、プロ野球について簡潔に述べようと思う(なお、本文章に書かれていることは、いち俄かファンとしてのただの独り言であることをご承知おきいただきたい)。

単刀直入に言うと、私は阪神タイガースのファンである。日本一熱狂的なファンが多い球団としてもその名は全国民が知っているであろう。私が阪神ファンになった理由は私の父親が阪神ファンだからである。父親の影響で幼い頃から球場に足を運んで野球観戦をすることが多かった。また、高校の部活に野球ファンが多かったことから、彼らと野球観戦をしに行くことも多々あった。しかし、毎年、悔しい思いをしていた。なぜなら、優勝することがなかなかできなかったからである。CS(クライマックスシリーズ)に進出することはあっても、あと一步届かないもどかしさを感じていた。

迎えた 2023 シーズン。ここで事態が動く。阪神タイガースが 18 年ぶりのセ・リーグ優勝、38 年ぶりの日本一を達成したのである。日本シリーズの最終戦、当時レフトだったシェルドン・ノイジー選手(2024 年退団)がフライをつかんだ瞬間の喜びが今でも忘れられない。阪神を応援していて良かったと心から思った。

A.R.E. Goes on がかかった 2024 年シーズン。シーズンが終わるまで、阪神が優勝するか、読売が優勝するか予想がつかなかった。しかし、結果は宿敵読売の優勝に終わった。「読売に負けた」という事実がしばらく受け入れられなかった。同時に、絶対来年こそは王者奪還を達成してほしいと強く思った。

大山選手の阪神残留も決まり、森下選手、近本選手といった主力選手たちも次々に契約更改を完了させている。優勝する準備は整った。藤川球児新監督に変わってから初のシーズンとなる 2025 年シーズン、是非とも優勝で終えてほしいと心から願っている。